

# Oiler 80

## フラッシング機

### 取扱説明書（200、400FC）

タイマー・リモコン無し

この度は、オイラー80“燃料フラッシング機”をお買い上げ戴きまして、誠に有難うございます。

ご使用にあたっては、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、充分ご理解の上、ご使用下さい。

**SANKO**

## 1. 安全上のお願い



### 1-1 火気厳禁です



#### 危険

オイルの取扱時は、軽油等を使用していますので火気厳禁です。  
火災等の事故発生の恐れがありますので、タバコ、焚火などの火気を20m以内に近づけたり発生させたりしないで下さい。



### 1-2 ガソリン等の第一石油類使用禁止



#### 危険

ガソリン等の第一石油類は使用出来ません。  
揮発性が高く引火の原因になります。



### 1-3 分解・改造禁止



#### 危険

オイル本体や先端の給油口、吐出口及びホース等は、改造したり分解しないで下さい。  
油漏れを起こしたりする原因となります。  
故障が発生したら販売店を通じ製造元へ送って下さい。

## 2. 本機の適用範囲

2-1 本機(オイラー)の使用目的、適用範囲は次の通りです。



本機は、軽油・灯油・A重油が使用出来ます。  
上記以外の油、特に第一石油(ガソリン等)は絶対に使用しないで下さい。

## 3. 使用上の取扱いについて



3-1 通電防止について



本機の運転中は、交流100Vの電気が通電していますので、水に濡れた手で触れないで下さい。必ず手袋などで保護して下さい。  
また、本機が濡れない様にシート等で防水して下さい。

## 1. はじめに

本機は、灯油を使って試運転していますので、最初に灯油が出ます。

- 1) 本機は軽油・灯油・A重油のみが使用出来ます。  
上記以外の油、特に第一石油類(ガソリン等)は絶対に使用しないで下さい。  
また、作業中は火気厳禁です。
- 2) カートに巻き付けてあるホースは、必ずカートから外しホースを伸ばした状態でご使用下さい。
- 3) メインスイッチを ON にする時は必ずホースの吐出側、吸込側、共にノズルをセットして下さい。  
モーターが焼損する原因になります。
- 4) ご使用前に、フィルター上部のネジが緩んでいないか確認して下さい。  
もし、緩んでいる時は、軽く締付けて下さい。締め過ぎに注意して下さい。
- 5) フィルター本体は割れやすいので、物などぶつけない様にして下さい。

## 2. 電源

電源は交流100Vです。付属の電源コードのオス側を家庭用コンセントへ、メス側をオイラー本体の電源コンセント①へ差し込んで下さい。

メインスイッチ②をONにすると電源ランプ④(橙)が点灯します。

現場等で使用の際は、2KVA以上の発電機をご使用下さい。

## 3. 運転

- 1) 電源を入れて下さい。電源ランプ④(橙)点灯。
- 2) ホースの先端に各ノズル(洗浄ノズル)をセットして下さい。
- 3) ⑥のスタートスイッチを押すとポンプが作動します。
- 4) 途中で停止する時は、⑤の停止ボタンを押してください。

## 4. 燃料タンクフラッシングの方法

### 1) 使用前

①最初、ギヤーポンプに空気が入っているうちは、どうしても、油の吐出が悪くなります。

(出荷時は、ポンプ内に燃料があります)

⇒ホースを全部巻き戻し、ポリタンクから燃料を吸わせる。又は、呼び水をすると早いです。

(揚程があると吸いづらいです)

※フィルターが満タンになれば、正常運転になります。

注意!

②タンク内の燃料残存容量は、40L 以上。少ないと、泡が混ざり、キャビテーションを起こして、吸込みが悪くなります。

## 2)使用中

- ①フィルターを見ながら、吸込み側ノズルを持って、サビ、水の多い場所を探します。  
(たまに、空気を吸ってバブルをエレメントに当て、付着したサビを落としてください)

注意!

- ②サビがひどい時は、運転しながらドレンコックを開けてください。  
勢いよく、曝気できます。

注意!

- ③水が溜まってくると、ドレンを開けて抜きます。溜まり過ぎると乳化の恐れがあります。
- ④吸込みの力が無い時は、ノズルのフレキシブルがひび割れている恐れがあります。

## 3)使用後

- ①洗浄ノズルを外し、カプラに盲栓をします。この時、ホース内に燃料は、残っています。
- ②ドレンを開き、フィルター上部のカプラを外します。
- ③2次濾過室の燃料は、汚れの程度により、元の機械に戻します。
- ④1次濾過室の燃料は、フレイムを持って揺すりながら、サビ、水と一緒に排出します。  
フィルターは絶対に持たないでください。
- ⑤サビがドレンパイプ内で詰まれば、フィルター上部のカプラを外し、エアーを入れてください。
- ⑥1次濾過室内にサビ、水が少ないならそのまま、次の機械に取り掛かってください。  
ポンプ内に燃料が詰まっている分、すぐに運転出来ます。

## 4)メンテナンス

- ①エレメントの洗浄は、付属部品で外し、灯油で洗ってください。使用中にバブルを当てて、洗浄すれば、殆ど外す必要はありません。

注意!

フィルター固定ブラケットを緩め、仕切り板、アンレットパイプ、エレメントをそれぞれ外し、順番に組み立てて下さい。

- ②水タンクをフラッシングした時は、必ずオイルを通して下さい。

## 5. ホース

本体後部吸入用(緑テープ)と吐出用(赤テープ)2本があり、カートに巻き付けています。  
各ホース先端の金具は、カプラが付いていますのでこれに洗浄ノズルを接続して下さい。  
※ 延長ホースを使用する場合は、変形しない材質のホースを選んで下さい。

## 6. フィルターの清掃について

- 1) 燃料タンクフラッシング終了後、吸込側ノズルを、タンク内から上げ、空運転をすると、フィルター⑦内の1次濾過側エレメントがクリーニングされます。
- 2) フィルター内に溜まった、ゴミ、サビ、水などの排出は、フィルター本体の底から出ている配管の所にあるドレンコック⑨を回し、フィルター上部にある、カプラを外すと底のホースから排出できます。  
※その際、本体を軽く揺ると、2次濾過側エレメント⑫の表面に付いたゴミが落ちます。
- 3) エレメントの清掃は、フィルターから取り外し、内側からエアなどで吹き飛ばして頂くか、軽油などで清掃できます。
- 4) 2次濾過側フィルター⑫は、ステンレス製ノッチワイヤーフィルター(60  $\mu$  m)使用の為、錆びませんので、何回でも使用出来ます。

## 7. フィルターの外し方

- (1) フィルター内の燃料を、ドレンを使って排出する。
- (2) フィルター上部の吐出側のカプラ⑩を外す。
- (3) 上蓋固定用の蝶ネジを外し、ステーを取る。
- (4) 上蓋を回すようにして、上へ外す  
※その際、蓋の所のカプラには、絶対にスパナなどをかけ回したりしないで下さい。
- (5) 1枚目の仕切り板を外す  
1枚目の仕切り板にアイボルトが付いています。付属のL型レンチを使い、テコの原理でフィルターを軸にし、外します。  
※その際、フィルターのL型レンチが当たる所にウェスなどを乗せ、ゆっくりと確実に外して下さい。
- (6) 2次濾過側のフィルターを抜いて下さい。
- (7) 2枚目の仕切り板を外す  
2枚目の仕切り板にも、1枚目と同様、アイボルトが付いています。それに、付属のシャックルを付け、シャックルに鎖を通して、調度良い長さに合わし、(5)と同様にして外して下さい。
- (8) 最後に、くれぐれもフィルターを傷付けないように外して下さい。

## 8. エLEMENTの入れ方

- (1) 1次濾過ELEMENT⑪を、ストッパーの位置まで正しく水平に入れて下さい。  
※ELEMENT固定ネジが、ストッパーに乗らない様に注意して下さい。
- (2) 2次濾過ELEMENT⑫を、1次濾過ELEMENT⑪上面ガイドに合わして下さい。
- (3) 2次濾過ELEMENT⑫上部にアンレットパイプ⑬を入れて下さい。  
※パイプは、ELEMENTにこげないように、無理なく入れて下さい。
- (4) 仕切り板を水平にセットし、アンレットパイプ⑬が10mm程出るようにして下さい。
- (5) 上蓋をセットし、上流についているパイプが、アンレットパイプに無理なく入るように、廻しながらセットして下さい。
- (6) ステーで、上蓋を押さえるような形で蝶ネジで締付けて下さい。
- (7) カプラ⑩のオス、メスをセットして下さい。

## 9. 運送時の注意

- 1) 本体を吊り上げる時は、フィルター及びフィルターステーにかからない様、カートの取手部にロープ等を掛けゆっくりと確実に移動して下さい。  
本体をぶついたり、落としたりしますと故障の原因となりますので注意して下さい。
- 2) 運送の際は、フィルター部分が車体等に当たらない所に積んで下さい。  
また、本体が倒れない様にしっかりと固定して下さい。

## 10. 保管について

冬場、燃料タンクフラッシング終了後、ポンプを空運転させ、ポンプ内及びフィルター内の燃料をある程度抜いて保管して下さい。凍結等でポンプが動かなくなる恐れがあります。  
もし、凍結等でポンプが動かない場合は、無理に回さず、電源を切り時間をあけてから再度運転して下さい。

## 11. 標準附属部品

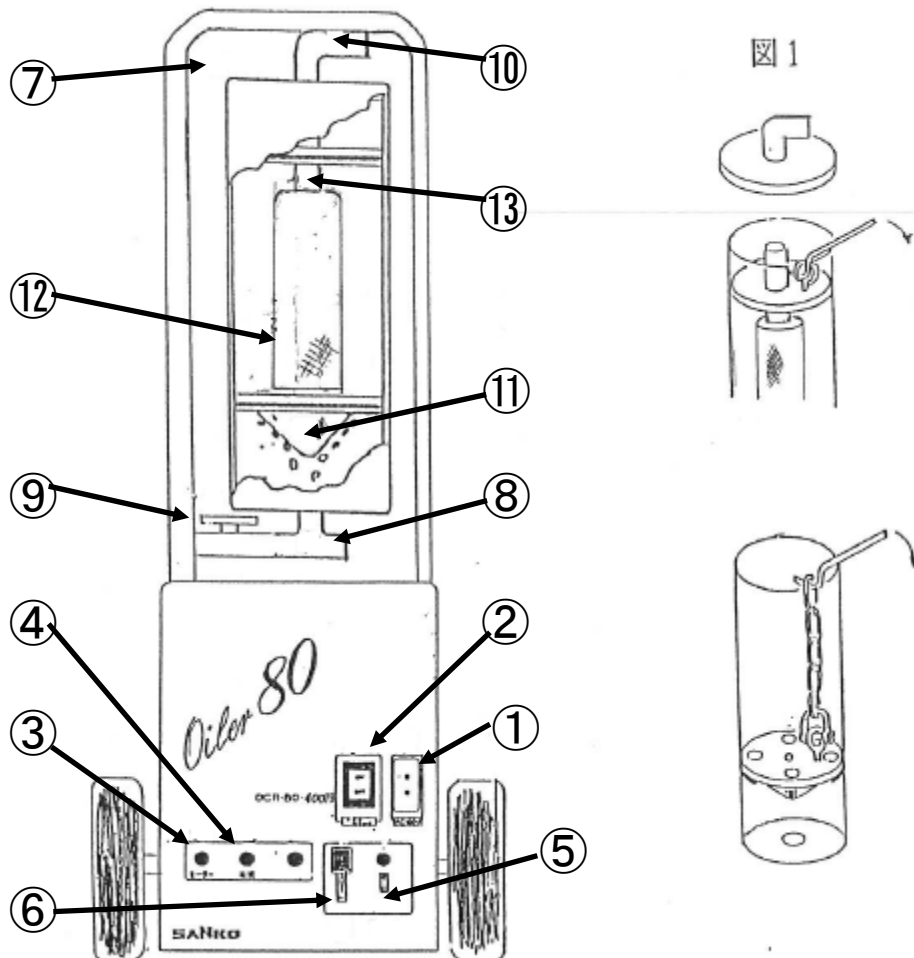
- |                       |    |
|-----------------------|----|
| ・ 電源コード               | 1本 |
| ・ 吸込用ノズル              | 1本 |
| ・ 吐出用ノズル              | 1本 |
| ・ フィルター取外し工具(鎖、L型レンチ) | 1本 |
| ・ 取扱説明書               | 1部 |

## 12. オプション

- ・洗淨ノズル(蛇管タイプ) OP-12100(吸込側、吐出側指定)
- ・洗淨ノズル(ホースタイプ) OH-12100(吸込側、吐出側指定)
- ・噴口付洗淨ノズル OPN-120

## 13. 各部名称

	名称	説明
本体	1. 電源コンセント 2. メインスイッチ 3. 緑ランプ 4. 橙ランプ 5. 停止スイッチ 6. スタートスイッチ	電源コードを挿入する 主電源の入・切 モーター運転中:点灯 電源入り:点灯 運転停止 運転スタート
フィルター	7. フィルター 8. フィルター内吸込口 ドレン排出口 9. ドレンコック 10. 吐出側カプラ 11. 1次濾過フィルター 12. 2次濾過フィルター 13. アンレットパイプ	燃料を濾過 フィルターへの入口 フィルター内の燃料、サビ、排出 ドレン排出時解放 フィルターからの出口 100 $\mu$ m ステンレス製 60 $\mu$ m ステンレス製 2次濾過エレメントからのバイパス





# 保証書

お客様	ふりがな ご氏名	様
	ご住所 〒	
	TEL	
取扱販売店名 住所 電話番号		
印		
保証期間	お買い上げ日	ただし本体のみ1年間
	年 月 日より	
型名		

## ■ 保証規定

- ・ 保証期間はお買い上げ月日より1年間です。
- ・ 修理はお買い上げの販売店様を通じ製造元にご依頼ください。
- ・ 無償修理の際は必ず本保証書をご提示ください。ご提示のない場合有料になります。

下記のような場合は保証期間内であっても保証対象外となり有料修理となります。

- ・ お買い上げ年月日、お客様の氏名及び住所、販売店様名及び住所の記入のない場合、又は、それらを訂正した場合。
- ・ ご使用方法の誤り、又は、乱用による故障。
- ・ 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
- ・ 保管時の注意を守らなかった場合による故障。
- ・ 保存上の不備による故障及び損傷。
- ・ 天災等による故障及び損傷。

修理品の運賃等諸掛り費用は、お客様にてご負担いただきますようお願いいたします。

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保障期間中に故障が発生した場合、その原因が製造上あるいは材料の欠陥による場合に限り、製品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

下記の場合は保証の対象外となります。

- ① 保証書がない場合
- ② 天災、地震、火災、海難、動乱、事故などにより生じた不具合の場合
- ③ 本書規定用途以外に使用した場合
- ④ 保管期間中、放電したまま放置、充電したままで長期間充放電しなかった場合
- ⑤ 本体に改造を加えたり、過大な負荷を増設して使用したために生じた不具合の場合

## 三晃精機株式会社

〒635-0034 奈良県大和高田市東三倉堂町7番13号

TEL 0745-52-0025

FAX 0745-23-2732

URL <http://www.sanko-seiki.co.jp>